

平成25年度 学校心臓検診集計結果報告書

静岡県医師会学校保健対策委員会 学校心臓検診結果検討小委員会

委員長	上田	憲	(静岡市静岡医師会)
副委員長	長尾	正明	(静岡県医師会)
委員	龍神	美穂	(沼津医師会)
	渡邊	正規	(富士市医師会)
	向井	英之	(静岡市清水医師会)
	大川	雅龍	(榛原医師会)
	井上	康夫	(浜松市医師会)
	深澤	ちえみ	(富士宮市立病院)
	田中	靖彦	(静岡県立こども病院)
	岩島	覚	(浜松医科大学医学部附属病院)

※この報告書は静岡県医師会ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shizuoka.med.or.jp/child/index.html>

平成25年度 学校心臓検診集計によせて

平成25年度の学校心臓検診の集計がまとまりましたのでご報告いたします。いつもながら面倒な集計作業に快くご協力くださった学校長・養護教諭の諸先生、県および市町教育委員会、郡市医師会ならびに関係の諸先生に深謝申し上げます。また精検・追跡調査表の記載に貴重な時間を割いてご協力いただいた精密検査担当医療機関の先生にも厚く御礼申し上げます。加えて、再調査のお願いに対してご丁寧に返信をいただいた先生にも重ねて御礼申し上げます。

以下に本年度の集計結果に関するコメントを述べさせていただきます。

なお、小学校4年生については、実施自治体が少し増えたものの84.9%と未だ全県下で実施されていないため、参考データとしておりコメントの対象にはなっていません。

一次検診の総受診率は在籍者数87,720人に対して87,591人（99.9%）で良好でした。一次検診の未受診者総数は昨年192人から大きく減少して129人ですが、主治医受診者が4人いるのでまったく検診を受けていないのは125人で0.1%となります。

一次検診者のうち要精検者は受診者の2.9%と昨年とほぼ同じでした。学年別では、小1が2.9%、中1が3.0%、高1は2.7%でした。要精検者のうち実際に精密検査を受けているのは89.3%と昨年の92.3%より3%減少し、未受診者は272人に達します。うち155人は既に医療機関で経過観察が行われていて、指導表の提出期間に間に合わずに未受診扱いになったのかも知れません。ただし、本検診は学校入学年度に行われているので、新規入学の学校における運動管理の指標となる指導表の提出は不可欠と思われます。残りの117人は精密検査を受けていないと考えられ、安全に学校生活を送るため、特に運動に関する管理が学校でどうなっているのか危惧されます。学校管理下の事故を避けるためにも、管理漏れは極力なくしていく努力が必要と考えられます。教育委員会との協議会の場でも注意を促したいと思います。

要管理者総数は904人と昨年の902人とほぼ同数で、率の上でも一次検診受診者数の1.03%で昨年と同率になりました。

I. 器質異常の新規発見者総数は49人で昨年の51人とほぼ同数です。主な疾患として、今年は14人の心房中隔欠損症（ASD）が見つかっています。小1の10人に加えて中1が2人、高1が2人発見されています。ASDに関しては、年長になると心音そのものが聞こえにくくなるので、喧噪の中で実施される内科検診の時に心雑音を検出する事は困難になります。不完全右脚ブロック所見がある場合は、精密検診でASDのチェックが大切ですが、心雑音ははっきりしないなど聴診所見が非典型的な場合もあるので、一度はエコー検査で確認しておくことが望まれます。その後は検診調査票の記載を参考にしてエコー検査は不要になります。その他にも心室中隔欠損症が小1で1人、中1で2人、高1で2人診断されていますが、ASD同様に本年は急激な増加を見ました。両心疾患の新規発見数増加の原因はわかりませんが今後の推移を見たいと思います。また、新規の心筋症はありませんでしたが、既往の肥大型3人、拡張型5人では常に注意が必要と考えられます。

II. 心電図・心音図異常の新規管理者は414人でした。多いものは例年どおり心室性期外収縮です。単源性の209人（小1：73人、中1：87人、高1：49人）はまず問題のないものですが、多源性連発等14人、心室性頻拍症4人に関しては注意が必要です。

1度、2度の房室ブロックによる要管理者は21人（小1：2人、中1：11人、高1：8人）と昨年の15人より少し増加しました。1度の房室ブロックは運動負荷でPRが正常化すれば管理不要に、2度ブロックもWenckebach型は運動負荷により正常伝導になれば管理不要となるものです。単源性上室性期外収縮での要管理者38人（小1：15人、中1：10人、高1：13人）は昨年の25人からやや増加しました。単源性上室性期外収縮における管理基準が昨年度から変更され、出現数の要素が加わり、多ければE可の管理と変更になったためかもし

れません。出現数の数をどの程度から多いとするのかは決まっていないため混乱が続くのではと危惧します。右脚ブロックも10人（小1：4人、中1：5人、高1：1人）が管理されていますが、エコー検査で心疾患が否定されれば、ほとんどの例で管理不要と思われます。これら以外では、PQ短縮（WPW症候群など）が小学生19人、中学生16人、高校生11人に認められました。QT延長は小学生9人、中学生27人、高校生1人に認めましたが、コンピューター自動分析ではFridericia法の補正が望ましく、確認にはマニュアル計測での接線法が推奨されています。

Ⅲ. 既往異常は以前から指摘があった131人でしたが、大多数を占める川崎病は小1で117人（うち1人は術後）、中1で7人の合計124人でした。

なお、本年度も診断と「しおり」の管理基準が合致しないケースについては、本委員会で検討の上、再調査をさせていただきました。再調査対象件数は64件で昨年の111件からほぼ半減しました。そのうち、変更なし11件、未回答8件、その他5件、管理区分の変更は40件でした。管理区分を変更した40件のうちE禁からE可が3件（単源性心室性期外収縮2例、洞房ブロック1例）、E可から管理不要が35件と大多数で管理が軽減されましたが、逆に管理不要からE可が2件（新規の単源性心室性期外収縮2例）ありました。

本年度の再調査件数は半減し、再調査例でも変更なしは11件と昨年の36件よりかなり減少しました。本委員会の活動にご理解が深まった結果であれば嬉しい限りです。

静岡県医師会学校保健対策委員会

学校心臓検診結果検討小委員会 委員長 上田 憲

平成25年度 学校心臓検診集計結果の概略

区 分	在籍者数	一次検診受診者数	要精検者数	要 精 検 者 数 の 内 訳							一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者数の内訳				精密検査未受診者数の内訳			一次検診未受診者総数	内 訳	
				精密検査受診者総数	指導区分の内訳			精密検査未受診者総数	内 訳			①主治医受診	②その他
					①要管理	②管理不要	③その他		①主治医受診	②その他			
小学校1年生	32,517	32,488	943	834	378	449	7	109	70	39	29	2	27
中学校1年生	33,196	33,120	1,023	915	373	530	12	108	57	51	76	2	74
高等学校1年生	22,007	21,983	583	528	153	365	10	55	28	27	24	0	24
計	87,720	87,591	2,549	2,277	904	1,344	29	272	155	117	129	4	125
小学校4年生	29,608	29,574	776	690	295	384	11	86	59	27	34	2	32

注) 小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は435校より報告をいただきました（実施率84.9%）

平成25年度学校心臓検診「再調査」による指導区分の変更について

○再調査対象件数 64件



① 指導区分の変更あり	40
② 指導区分の変更なし	11
③ 未回答 (担当医異動等により返送されたものを含む)	8
④ その他	5
計	64

○指導区分の変更あり (40件) の内訳

1. E禁→E可 3件

所見名	件数
心室性期外収縮	1
上室性期外収縮、心室性期外収縮	1
洞房ブロック	1

3. 管理不要→E可 2件

所見名	件数
初・単源性心室性期外収縮	2

2. E可→管理不要 35件

所見名	件数
Ⅱ度房室ブロック	7
Ⅰ度房室ブロック	4
完全右脚ブロック	4
不完全右脚ブロック	2
洞不整脈	2
異所性心房調律	2
その他の心電図異常	2
洞性徐脈、右室肥大の疑い	1
房室解離	1
上室性期外収縮	1
心房性期外収縮	1
ST・Tの異常	1
ST・Tの異常、上室性期外収縮	1
完全右脚ブロック、右軸偏位	1
左軸偏位	1
PV1陰性、洞不整脈	1
川崎病、三尖弁閉鎖不全 (軽症)	1
川崎病	1
異常なし	1
計	35

※ 以下の集計結果は、再調査により当初の指導区分が変更されたこれらの結果を踏まえたものとなります。

小学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	指導区分 C			D			E禁			E可			小計			合計
	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	
	術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)							1	21	5	9	21	5	10	36	
	心室中隔欠損症 (VSD)							1	27	24	1	28	24	1	53	
	動脈管開存症 (PDA)								5			5			5	
	ファロー四徴症 (TF)							1	10			11			11	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)				1			1	2	10	2	3	11	2	16	
	その他の先天性心疾患				9	1		14	1	25	22	12	48	24	12	84
	僧帽弁逸脱症 (MVP)										3	1		3	1	4
	心筋症-①肥大型 (HCM)															
	心筋症-②拡張型 (DCM)									1			1			1
	川崎病後遺症		1							1	1		1	2		3
	その他の器質異常				1	1		2	1	2	6		5	7	1	13
	器質異常 小計①		1	1	11	1		18	3	1	94	71	25	123	76	27
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位							1				1			1	
	左軸偏位				1						1	2	2	2	4	
	P波の異常															
	右心室肥大 (RVH)							1				1			1	
	左心室肥大 (LVH)				1							1			1	
	洞房ブロック				1							1			1	
	I° 房室ブロック								1						1	
	II° 房室ブロック											1			1	
	III° 房室ブロック															
	房室解離															
	右脚ブロック				1			2		5	1	4	8	1	4	13
	左脚ブロック (LBBB)															
	PQ短縮 (WPW等)											19			19	19
	QT延長											9			9	9
	異常Q波											1			1	1
	ST・Tの異常							1				1	1	1	1	2
	上室性期外収縮 (①単源性)							1				15	1		15	16
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)											1			1	1
	心室性期外収縮 (①単源性)								1		10	72		10	73	83
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)											5			5	5
上室性頻拍症 (SVT)											1	2		1	2	3
心室性頻拍症 (VT)				1				1			1			3	3	
その他の心電図異常											2			2	2	
心音図異常									1	1		1	1		2	
心電図・心音図異常 小計②			1	4			6	3	7	13	135	17	13	139	169	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)		1							1	115		1	116		117
	検診等で異常追跡中															
	心疾患で経過観察中							1			4		1	4		5
	その他															
既往異常 小計③		1					1		1	119		2	120		122	
家 族 歴																
総 計 A (①+②+③)		2	2	15	1		25	3	4	102	204	160	142	210	166	518
重複所見調整 B		1		5			8	1		13	17	23	26	19	23	68
要管理者実人数 (A-B)		1	2	10	1		17	2	4	89	187	137	116	191	143	450
指導区分別合計		3		11			23			413			450			

中学校1年生

注) 指導区分「A」の該当者なし

項目	指導区分			B			C			D			E禁			E可			小計			合計	
	既往	新規	未	既往	新規	未	既往	新規	未	既往	新規	未	既往	新規	未	既往	新規	未	既往	新規	未		
	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後	術後		
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)														20	6	2	20	6	2	28		
	心室中隔欠損症 (VSD)												2			39	28	2	41	28	2	71	
	動脈管開存症 (PDA)														5			5				5	
	ファロー四徴症 (TF)													1			10			11		11	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)														3	4		3	4			7	
	その他の先天性心疾患							3	2					8	1		25	14	10	36	17	10	63
	僧帽弁逸脱症 (MVP)															1	3		1	3			4
	心筋症-①肥大型 (HCM)					1														1			1
	心筋症-②拡張型 (DCM)			1													3			4			4
	川崎病後遺症														1		4			5			5
	その他の器質異常																2			2			2
	器質異常 小計①			1		1		3	2					11	2		105	62	14	119	68	14	201
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位																						
	左軸偏位															1				1		1	
	P波の異常																						
	右心室肥大 (RVH)																	2			2	2	
	左心室肥大 (LVH)																	2			2	2	
	洞房ブロック																	1			1	1	
	I° 房室ブロック														2	1	5	2	1	5	8		
	II° 房室ブロック													1	1	4	5	1	4	6	11		
	III° 房室ブロック																						
	房室解離																		1			1	1
	右脚ブロック															11	4	5	11	4	5	20	
	左脚ブロック (LBBB)																						
	PQ短縮 (WPW等)													1		1	15	16	1	16	16	33	
	QT延長																11	27		11	27	38	
	異常Q波																1			1		1	
	ST・Tの異常																		1			1	1
	上室性期外収縮 (①単源性)																6	10		6	10	16	
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)																						
	心室性期外収縮 (①単源性)															1	49	87	1	49	87	137	
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)														1		2	2		2	3	5	
上室性頻拍症 (SVT)															1	1		1	1		2		
心室性頻拍症 (VT)																1	1		1	1	2		
その他の心電図異常																		5			5	5	
心音図異常																	1			1		1	
心電図・心音図異常 小計②													1	2	17	97	170	17	98	172	287		
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)													1		6			7		7		
	検診等で異常追跡中															1			1		1		
	心疾患で経過観察中																						
	その他							1											1			1	
既往異常 小計③							1						1		7			1	8		9		
家 族 歴																							
総 計 A (①+②+③)			1		1		4	2				11	4	2	122	166	184	137	174	186	497		
重複所見調整 B														2	1		25	16	21	27	17	21	65
要管理者実人数 (A-B)			1		1		4	2				9	3	2	97	150	163	110	157	165	432		
指導区分別合計			1		1		6					14			410			432					

高等学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	指導区分			C			D			E禁			E可			小計			合計	
	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規	既往	未	新規		
																				術後
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)					1							5	3	2	5	4	2	11	
	心室中隔欠損症 (VSD)				1								9	12	2	10	12	2	24	
	動脈管開存症 (PDA)												1			1			1	
	ファロー四徴症 (TF)				1								2			3			3	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)												2	1		2	1		3	
	その他の先天性心疾患				1			4					7	10	3	12	10	3	25	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)				1								3			1	3		4	
	心筋症-①肥大型 (HCM)						1							1				2	2	
	心筋症-②拡張型 (DCM)																			
	川崎病後遺症									1							1		1	
	その他の器質異常						1							1	1		2	1	3	
	器質異常 小計①				4	3		4	1				26	31	8	34	35	8	77	
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位																			
	左軸偏位								1				2	1		3	1		4	
	P波の異常																			
	右心室肥大 (RVH)																			
	左心室肥大 (LVH)												1		2	1		2	3	
	洞房ブロック														1			1	1	
	I° 房室ブロック													1	1		1	1	2	
	II° 房室ブロック								1					1	7		2	7	9	
	III° 房室ブロック								1								1		1	
	房室解離														1			1	1	
	右脚ブロック								1						4	1	1	4	1	6
	左脚ブロック (LBBB)															1			1	1
	PQ短縮 (WPW等)													8	11		8	11	19	
	QT延長						1							4	1		5	1	6	
	異常Q波														1			1	1	
	ST・Tの異常														3			3	3	
	上室性期外収縮 (①単源性)													5	13		5	13	18	
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)													2	1		2	1	3	
	心室性期外収縮 (①単源性)								1					12	49		13	49	62	
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)			1											6		1	6	7	
上室性頻拍症 (SVT)																				
心室性頻拍症 (VT)													1			1		1		
その他の心電図異常													1	1	4	1	1	4	6	
心音図異常																				
心電図・心音図異常 小計②			1			1			2	3			5	39	103	7	44	103	154	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)																			
	検診等で異常追跡中																			
	心疾患で経過観察中																			
	その他																			
既往異常 小計③																				
家 族 歴																				
総 計 A (①+②+③)			1		4	4		6	4				31	70	111	41	79	111	231	
重複所見調整 B						1		2	1				4	13	29	6	15	29	50	
要管理者実人数 (A-B)			1		4	3		4	3				27	57	82	35	64	82	181	
指導区分別合計			1		7			7					166			181				

参 考 小 学 校 4 年 生

小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご留意ください。なお、本年度は435校より報告をいただきました（実施率84.9%）

注) 指導区分「A」の該当者なし

項目	指 導 区 分		B			C			D			E禁			E可			小 計			合計
	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規	既往	新規			
	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未	術後	未			
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)												14	2	5	14	2	5	21		
	心室中隔欠損症 (VSD)										1					34	20		55		
	動脈管開存症 (PDA)													5	1	1	5	1	1	7	
	ファロー四徴症 (TF)										4					5			9		
	肺動脈弁狭窄症 (PS)						1			1				4	6		6	6		12	
	その他の先天性心疾患	1			1		1			9	1			23	23	8	34	25	8	67	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)														5	1		5	1		6
	心筋症-①肥大型 (HCM)														1			1			1
	心筋症-②拡張型 (DCM)														2			2			2
	川崎病後遺症													1	1		1	1		2	
	その他の器質異常				1					2				1		1	3	1	1	5	
	器質異常 小計①	1			2		2			17	1			87	61	16	107	64	16	187	
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位										1					1			1		
	左軸偏位																				
	P波の異常												1			1			1		
	右心室肥大 (RVH)									1						2			3		
	左心室肥大 (LVH)													2			2		2		
	洞房ブロック																				
	I° 房室ブロック												1		1	1		1	2		
	II° 房室ブロック													1	1		1	1	2		
	III° 房室ブロック																				
	房室解離														1			1	1		
	右脚ブロック										3			6	1	3	9	1	3	13	
	左脚ブロック (LBBB)																				
	PQ短縮 (WPW等)													11	11		11	11	22		
	QT延長													3	11		3	11	14		
	異常Q波																				
	ST・Tの異常													1			1		1		
	上室性期外収縮 (①単源性)										1				4	10	1	4	10	15	
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)														1			1	1		
	心室性期外収縮 (①単源性)										1				25	67	26	67	93		
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)														1	1		1	1	2	
上室性頻拍症 (SVT)							1						1	1	1	1	2	1	4		
心室性頻拍症 (VT)																					
その他の心電図異常										1			2	5	2	3	5	2	10		
心音図異常													1			1			1		
心電図・心音図異常 小計②						1			7	1			14	55	110	21	57	110	188		
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)												1	38		1	38		39		
	検診等で異常追跡中															1			1		
	心疾患で経過観察中																				
	その他														1			1	1		
既往異常 小計③													2	38	1	2	38	1	41		
家 族 歴															2			2	2		
総 計 A (①+②+③)	1			2		2	1		24	2			103	154	129	130	159	129	418		
重複所見調整 B						1			8				18	18	17	27	18	17	62		
要管理者実人数 (A-B)	1			2		1	1		16	2			85	136	112	103	141	112	356		
指導区分別合計	1			2		2			18				333			356					